

セガがアルバで全社的な無線LAN環境を構築 省電力化のためにPCをデスクトップからノートへ 私物デバイスもセキュアに接続

Aruba導入のポイント

約400台のアクセスポイントを集中管理

出力の自動調整で、レイアウト変更に対応

Wi-Fi認定を取得、汎用的なデバイスに対応

セキュリティ機能の拡張性

アーケードからコンシューマ機、さらに最近ではモバイル機器向けのゲームにも力を入れる株式会社セガ。2011年の東日本大震災とその後の電力不足をきっかけに社内のデスクトップPCをノートPCに置き換えた。有線LANのみだったネットワークも全拠点の無線LAN化に向け、アルバ社の無線LAN製品を採用して環境構築を進めている。大規模な無線LAN環境構築にアルバ社製品を選んだ理由、その導入経緯と効果について詳しく伺った。

導入の背景

省電力化の一環として導入されたノートPCのさらなる活用のため無線LAN導入を検討

株式会社セガ(以下、セガ)は、アミューズメントマシンのリーディングカンパニーとして、1960年の設立以来世代を問わずに楽しめる様々なエンタテインメントコンテンツを提供している。グローバルでの開発・販売体制を活かし、家庭用ゲームコンテンツをはじめとした多様なジャンルのゲームコンテンツを各市場にあわせて提供し続け、日本のみならず世界的にも高い評価を得ている世界有数のゲームメーカーだ。また近年では、急速に普及している携帯電話やスマートフォン、タブレット端末といったモバイルデバイスに向けたゲームコンテンツの開発にも力を入れている。セガにおける無線LAN導入のきっかけは、2011年春に起きた東日本大震災だった。震災後の電力不足という社会問題に対して、節電のための様々な努力が行なわれた。そのひとつとして推進されたのが、電力消費量の大きなデスクトップPCからノートPCへの置き換えだった。

「バッテリーで駆動することを前提にしたノートPCは、デスクトップPCに比べて省電力設計になっています。消費電力が少なく済むだけでなく、電力消費ピークの時間帯にバッテリーを使うことで、ピーク時の消費電力も抑えることができます。開発を担当している部署を除き、全社的にPCをデスクトップ型からノート型へ置き替えました」(上原氏)



株式会社セガ
コーポレート本部
情報システム部
ITサービスチーム
主任
上原 政利氏

従来、デスクトップPCを使うために敷設されたネットワークは有線LANのみで構成されていたが、デスクトップPCからノートPCへと置き変わる従業員が増えるにつれて、会議室で利用したいといった無線LANへの要望が高まって行った。「以前から社内の一部には無線LANのニーズ

がありました。デスクトップPCが主流だったので本格的な検討はしていませんでしたが、無線LAN導入に向けた調査はしていました。セキュリティや運用管理などの条件を考えながら、製品の情報を仕入れていました。それが、ノートPC化によって一気に現実化したのです」(加瀬氏)

こうして、無線LAN導入に向けた具体的な動きがスタートした。社内ネットワークに接続可能にするためには、セキュリティをしっかりと確保しなければならない。また社内で広く使われ始めたノートPCの活用を考え、対象は全社全フロアへの導入を目標とすることになった。カバーすべき範囲が広いうえに、レイアウト変更が多いという同社に固有の悩みもあった。「無線LANは導入前に、サイトサーベイをしてアクセスポイント(AP)の設置場所を決めるのが一般的です。しかしセガでは人事異動によりしばしばレイアウトが変わるため、サイトサーベイ自体があまり意味をなしません。レイアウト変更に対応できる無線LANを構築できれば良いなと思っていました」(上原氏)

User Profile

株式会社セガ

株式会社セガは1960年の設立以来、アミューズメントマシンのメーカーとして発展し、1983年以降は家庭用ゲーム機市場へも参入。そして常に先進的な製品を提供し続け、市場をリードしてきたセガのコア・コンピタンスは広い範囲に渡ってのコンテンツ開発力であり、数々の"史上初"となる製品を生んだ技術応用力を有し、世界有数のソフト資産を持つゲームメーカーとして世界的に評価されている。

設立：昭和35年6月3日(創業昭和26年4月)
所在地：〒140-8583 東京都品川区東品川
1丁目39番9号カナルサイドビル
従業員数：2,598人(平成23年4月1日現在)
URL：http://sega.jp/

● 導入の要件と選定理由

変化が多いオフィスで快適な無線LAN環境を維持し続ける

製品選定に当たり、いくつかの技術的な要件が挙げられた。本社や拠点に展開した全てのアクセスポイントを一元的に管理できること。レイアウト変更時にも出力などの変更に対応できること。そして、無線の規格を順守し、ベンダ独自の仕様に依存しないものが求められた。

「業務の内容上、一般のゲーム機やスマートフォンなども無線LANに接続して利用することが少なくありません。会社支給のノートPCに限定できないので、無線LANを搭載した一般的なデバイスが接続できるよう、接続性がベンダの仕様に依存しない製品を選ばなければなりませんでした」(加瀬氏)

| 全社のアクセスポイントを一元管理

セガは本社に加えて都内に複数の拠点があり、従業員は2,000人を超える。全社に展開したAPの稼働状況やユーザの利用状況を一元的に把握でき、利用者からの問い合わせにも円滑に対応できる。

| ARM機能でレイアウト変更にも動的に適応

周囲の電波状況を把握して各APのチャンネルや出力を動的に調整するARM (Adaptive Radio Management) 機能を搭載している。多くの環境で事前のサイトサーベイ無しでも、アルバ社製品が導入がされている。レイアウト変更などがあつた場合にも、新たな環境に合わせて自動的に出力を調整するため、APの設置場所や設定等の変更作業は不要。

上原氏は自身で情報収集する一方で、セガのコアネットワーク構築にも携わったシステムインテグレータに要望を伝えて機種選定の支援を依頼した。「自分たちで情報を収集した中で候補に挙がっていたアルバ社製品は、インテグレータからも高評価でした。元々、当社のコアネットワークの導入や運用サポートをお任せしていて、その技術力には高い信頼がありました。また、アルバ社製品の大規模導入案件の実績も多数あるということで、安心してアルバ社製品を選ぶことができました。」

| Wi-Fi認定を取得しており、汎用的なデバイスに対応

アルバ社は無線の規格を順守してWi-Fi認定も取得している。そのため、PCだけでなくゲーム機やスマートフォンなどWi-Fi認定を取得している幅広いデバイスで安心して無線LANを利用できる。

| セキュリティ機能の拡張性

802.1x認証だけでなく、MACアドレス認証やWeb認証にも対応している。MACアドレス認証と802.1x認証を組み合わせられ、柔軟に認証ポリシーを設計できる。

また、ファイアウォール機能も実装しているため、今後想定される無線LANのゲストへの開放など様々な用途に対応できると期待された。

● 導入効果

ノートPCと無線LANの活用で、ペーパーレス化も促進

機器の選定、検証を経て本格導入を始めようとした矢先に、ネットワークとは別の課題が浮上した。東日本大震災の経験を踏まえ、耐震性を考慮して本社移転が決定したのだ。結局、無線LAN導入は当初計画していた旧本社ではなく、まず品川に移転した新本社から開始されることになった。

「設置する場所自体が変わってしまったので、サイトサーベイを前提としていたら全てやり直しになるどころでした。設置する場所が変わったことでコン



株式会社セガ
コーポレート本部
情報システム部
IT企画チーム
副主査
加瀬 直樹 氏

ローラの設計を途中で変えるなどの対応を行ないましたが、それ以外に対応が必要な大きな課題もなく、オフィス移転とともに無線LAN環境をスタートできました」(上原氏)

1台の無線APあたり約30台のデバイスが接続することを想定して、またレイアウト変更も考慮してやや多めにAPが設置された。出力やチャンネルに関してはARM機能に任せており、状況に応じて動的にコントロールされている様子をチェックしている。品川本社では各フロアに20台、合計80台のAP-105が導入された。本社での無線LANスタートを追うように、横浜オフィスでも引越しに合わせて無線LANを導

入。こちらは各フロア約35台、合計85台が導入されている。他の拠点にも順次展開を予定しており、合計で約400台のAPを運用することになる。

「5GHz帯はノートPCを社内ネットワークに接続するために使い、それ以外のゲーム機や私物デバイスは2.4GHz帯を使ってインターネットだけを利用できるよう設定されています。以前は、業務に無線LANが必要な部署ごとにインターネット回線を別途契約して、自立型のAPを設置していましたが、それらの多くも情報システム部が管理する無線LANに集約しました。回線コストが減り、セキュリティ管理もこちらで一元的にできるようになったので、安心して利用できる環境になりました」(加瀬氏)

さらにノートPCと無線LANの組み合わせにより、打ち合わせ等で利用される印刷資料も削減され、環境負荷低減効果も発揮しているという。

「ゲスト向けにインターネットアクセスの提供も検討しており、運用ルールなど必要なスキームが整い次第活用される予定になっています。また、社内ネットワークに接続する端末のセキュリティチェックなども強化する予定で運用負荷は低く、実効性の高い手法を探っているところです。活用範囲を広げ、無線LAN導入の効果を拡大していきたいですね」(上原氏)

www.macnica.net/aruba/

macnica
networks

マクニカネットワークス株式会社

本社 〒222-8562 横浜市港北区新横浜 1-5-5
TEL.045-476-2010 FAX.045-476-2060
大阪営業所 〒532-0003 大阪市淀川区宮原 3-4-30 ニッセイ新大阪ビル17階
TEL.06-6397-1055 FAX.06-6397-1056